

令和5年4月28日

第561号

横浜市立日吉台小学校

吉井 宣明

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

ひよびだい



コミュニケーション

校長 吉井 宣明

新年度が始まり1か月になります。入学してきた1年生も新しい環境に慣れ、元気に学校に通っています。朝、登校してきた1年生が「校長先生、おはようございます。」と行儀の良い挨拶をしてくれるので、とても嬉しい気持ちになります。(たまに「園長先生、おはようございます。」と言うのはご愛敬です。)挨拶は、人と人をつなぐコミュニケーションの基本だと改めて感じます。また、この「おはよう」という言葉自体にも相手や自分を元気にさせる何かがあります。

音声と意味の間に対応関係があって、聞いたものに何らかのイメージをもたらすという考えがあり、それを音象徴といいます。日本語の母音は「a・i・u・e・o」の5音ですが、音象徴の考え方では、それらが大きさ等のイメージも合わせ持っているものです。ある研究によると次のようなイメージがあるとのこと。

「大きい」o, u, a 「小さい」i, e

全てこれで説明がつくわけではなく、もちろん反例も探せばありますが、確かに「大(さい)」「小(さい)」という言葉自体も「oo(さい)」「tii(さい)」と音象徴のイメージ通りの母音が当てられています。オノマトペでも「どンドン(dondon)」「がががん(gangan)」は大きな音、「ちりんちりん(chirinchirin)」は小さい音という感じがします。これからすると「おはよう」は母音が「oaou」なので、大きいイメージですね。「おはよう」と発声すると元気が出る気がするのも、もしかしたら、この音象徴のイメージと関係するのかもしれません。



挨拶の他に、会食も人と人をつなぐコミュニケーションの一つですね。給食に関しては、まだ向き合って食べることへの不安がある児童がいることを考慮して、今のところまだ全員が前を向いての喫食としています。最初の15分間を「もぐもぐタイム」という、おしゃべりをしないで集中して食べる時間とし、その後は大声や遠くの人との会話を避けて、マナー良く食べるようにします。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられることに伴い、5月8日以降の市立学校の感染症対策も変更が出る予定です。しかし基本的な対策として、手洗い、咳エチケット、換気、健康観察は継続します。健康観察は、健康観察票をお配りしなくなりましたが、ぜひとも朝のお子様の健康状態をご確認ください。発熱した場合は、その後すぐに熱が下がっても受診されることをお勧めします。5月には授業参観があります。お子様1人につき2名までとさせていただきますが、それでも教室は混雑が予想されます。ご来校の際には、保護者の皆様も咳エチケット等をお願いするとともに、体調がすぐれない場合は参観を見合わせるようご協力をお願いいたします。

今後も保護者の皆様、地域の皆様ともコミュニケーションを取り、ともに子どもたちを育てていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。